

# ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース

## 運用報告書（全体版）（第23作成期）

第130期（2025年11月25日） 第133期（2026年2月25日）  
第131期（2025年12月25日） 第134期（2026年3月25日）  
第132期（2026年1月26日） 第135期（2026年4月27日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式				
信託期間	2014年12月19日から2027年4月26日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネーブルマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）</td> <td>担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</td> </tr> <tr> <td>マネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。			
マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。				

## お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、2026年4月27日に第135期決算を行いましたので、第130期から第135期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債券組入比率	債券先物比率	UBSユニバーサル・トラス・ト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
		円	円	%	%	%	%	百万円
第19作成期	106期(2023年11月27日)	337	5	6.5	—	—	98.9	6,103
	107期(2023年12月25日)	334	5	0.6	—	—	98.5	5,687
	108期(2024年1月25日)	323	5	△1.8	—	—	98.5	5,421
	109期(2024年2月26日)	328	5	3.1	—	—	98.5	5,424
	110期(2024年3月25日)	315	5	△2.4	0.6	—	98.5	5,171
	111期(2024年4月25日)	303	5	△2.2	0.6	—	98.7	4,976
第20作成期	112期(2024年5月27日)	297	5	△0.3	0.6	—	98.9	4,895
	113期(2024年6月25日)	275	5	△5.7	0.7	—	98.7	4,421
	114期(2024年7月25日)	262	5	△2.9	0.5	—	98.6	4,218
	115期(2024年8月26日)	261	5	1.5	0.5	—	98.5	4,229
	116期(2024年9月25日)	252	5	△1.5	0.5	—	98.7	4,076
	117期(2024年10月25日)	245	5	△0.8	0.5	—	98.3	3,967
第21作成期	118期(2024年11月25日)	239	5	△0.4	0.5	—	97.7	3,902
	119期(2024年12月25日)	206	5	△11.7	0.5	—	98.1	3,308
	120期(2025年1月27日)	213	5	5.8	0.5	—	98.5	3,443
	121期(2025年2月25日)	205	5	△1.4	0.5	—	98.4	3,367
	122期(2025年3月25日)	209	5	4.4	0.4	—	98.0	3,548
	123期(2025年4月25日)	196	5	△3.8	0.5	—	98.5	3,401
第22作成期	124期(2025年5月26日)	196	5	2.6	0.4	—	98.2	3,723
	125期(2025年6月25日)	199	5	4.1	0.4	—	98.5	4,152
	126期(2025年7月25日)	192	5	△1.0	0.5	—	98.1	4,195
	127期(2025年8月25日)	196	5	4.7	0.5	—	98.2	4,273
	128期(2025年9月25日)	203	5	6.1	0.5	—	98.5	4,363
	129期(2025年10月27日)	199	5	0.5	0.5	—	98.5	4,413
第23作成期	130期(2025年11月25日)	202	5	4.0	0.5	—	98.5	4,451
	131期(2025年12月25日)	199	5	1.0	0.4	—	98.2	4,662
	132期(2026年1月26日)	217	5	11.6	0.4	—	98.6	5,097
	133期(2026年2月25日)	220	5	3.7	0.4	—	98.1	5,079
	134期(2026年3月25日)	204	5	△5.0	0.4	—	98.6	4,731
	135期(2026年4月27日)	213	5	6.9	0.5	—	98.5	5,696

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日		基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	UBSユニバーサル・ トラスト (ケイマン)Ⅲー ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ソイン・アルファ・ クラスタ) 率 組 入 比 率
			円	騰 落 率			
第130期	期 首 (前期末)	2025年10月27日	199	—	0.5	—	98.5
		10月末	203	2.0	0.5	—	98.5
	期 末	2025年11月25日	207	4.0	0.5	—	98.5
第131期	期 首 (前期末)	2025年11月25日	202	—	0.5	—	98.5
		11月末	208	3.0	0.4	—	98.5
	期 末	2025年12月25日	204	1.0	0.4	—	98.2
第132期	期 首 (前期末)	2025年12月25日	199	—	0.4	—	98.2
		12月末	199	0.0	0.4	—	98.5
	期 末	2026年1月26日	222	11.6	0.4	—	98.6
第133期	期 首 (前期末)	2026年1月26日	217	—	0.4	—	98.6
		1月末	216	△ 0.5	0.4	—	98.7
	期 末	2026年2月25日	225	3.7	0.4	—	98.1
第134期	期 首 (前期末)	2026年2月25日	220	—	0.4	—	98.1
		2月末	219	△ 0.5	0.4	—	98.2
	期 末	2026年3月25日	209	△ 5.0	0.4	—	98.6
第135期	期 首 (前期末)	2026年3月25日	204	—	0.4	—	98.6
		3月末	206	1.0	0.4	—	99.0
	期 末	2026年4月27日	218	6.9	0.5	—	98.5

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

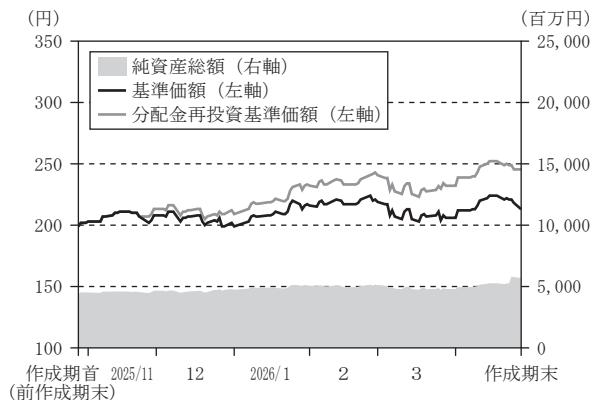
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



第130期首：199円

第135期末：213円（既払分配金30円）

騰落率：23.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年10月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、株式カバードコール戦略、通貨カバードコール戦略はマイナス寄与しましたが、ブラジル株式（米ドル建てETF）が上昇したことなどのプラス寄与が上回った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

### ■ 投資環境

#### 【ブラジル株式市場】

ブラジル株式市場は上昇しました。作成期初から2025年11月上旬にかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）とブラジル中央銀行による2026年の利下げ期待が高まったことなどから上昇しました。その後2026年1月中旬にかけては、ほぼ横ばいで推移しました。1月下旬は、グリーンランドの取得問題を巡る米欧摩擦の懸念が薄れたことや、資源価格の上昇、利下げ期待などからブラジル株式市場への海外資金の流入を受け、大きく上昇しました。2月はほぼ横ばいで推移しました。3月に入ると、イラン戦争の開始を受け、原油価格が上昇し、インフレ懸念が高まったことにより中旬にかけて下落しました。3月下旬から作成期末にかけては、イラン戦争終結やホルムズ海峡通航再開への期待が高まり、原油価格が大きく下落したことなどから大きく上昇しました。

### ■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	24.6%
マネープールマザーファンド	0.3

## 【為替市況】

円・米ドル相場は円安米ドル高となりました。作成期初から2025年11月中旬にかけては、日銀の植田総裁、片山財務相、城内経財相の三者会談で円安是正に関する具体的な対応が示されなかったことが伝わり、円安米ドル高となりました。11月下旬から2026年1月中旬にかけては、横ばいで推移しました。1月下旬は、日米協調の為替介入が行われるとの観測が広がり、円高米ドル安となりました。2月前半は、高市首相の演説での発言が円安を容認していると受け止められたことから円安米ドル高となりましたが、その後2025年12月の米小売売上高の伸び率が市場予想を下回り、米国の利下げ観測が再燃したことから円高米ドル安となりました。2月後半から3月中旬にかけては、1月のFOMC（米連邦公開市場委員会）の議事要旨で利上げの可能性を指摘する意見が確認されたことや、高市首相が利上げに難色を示したと報道されたこと、米国・イスラエルによるイランへの軍事行動を巡る緊張が高まったことを背景に円安米ドル高となりました。3月下旬から作成期末にかけては、横ばいで推移しました。

## 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の0.44%から作成期末は0.78%となりました。作成期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や日本の財政悪化懸念、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 【当ファンド】

作成期を通じて、UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

### 【UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

主としてユービーエス・エイ・ジー ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

### 【マネープールマザーファンド】

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第130期から第135期まで各5円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■ 今後の運用方針

### 【当ファンド】

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

### 【UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金+ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

### 【マネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれ、国内金利は比較的底堅く推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2025年10月28日から2026年4月27日まで)

費用の明細

項目	第130期～第135期		項目の概要
	2025/10/28～2026/4/27		
	金額	比率	
平均基準価額	208円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	2円	0.729%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	( 1)	(0.275)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 1)	(0.438)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 0)	(0.016)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.065	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数
(投資信託証券)	( 0)	(0.065)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.008	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	2	0.802	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

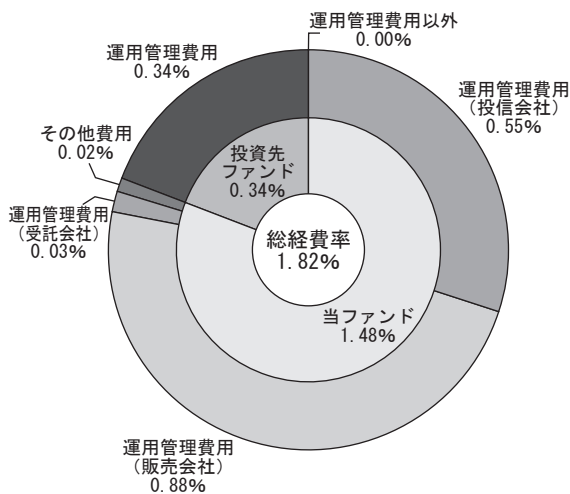
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2025年10月28日から2026年4月27日まで)

(1) 投資信託証券

		第 130 期 ~ 第 135 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	U B S ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口 9,207,341	千円 1,464,000	口 3,159,074	千円 497,840

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 130 期 ~ 第 135 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド	千口 11,466	千円 11,690	千口 -	千円 -	

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2025年10月28日から2026年4月27日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2026年4月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第129期末)	当 作 成 期 末 (第 135 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	28,783,882	34,832,149	5,607,976	98.5

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 129 期 末)	当 作 成 期 末 (第 135 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
マネープールマザーファンド	33,765	45,232	46,118

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は49,705千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2026年4月27日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 135 期 末)	
	評 価 額	比 率
UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	5,607,976	95.0
マネープールマザーファンド	46,118	0.8
コール・ローン等、その他	246,247	4.2
投資信託財産総額	5,900,341	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月25日現在 2025年12月25日現在 2026年1月26日現在 2026年2月25日現在 2026年3月25日現在 2026年4月27日現在

項目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
(A) 資産	4,607,472,685円	4,790,753,638円	5,296,513,079円	5,207,460,852円	4,924,069,468円	5,900,341,594円
コール・ローン等	189,729,860	179,257,456	237,798,327	190,827,961	223,593,297	246,241,913
UBSユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ ファンド(適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス) (評価額)	4,383,407,363	4,577,146,112	5,024,343,303	4,982,245,461	4,666,071,227	5,607,976,138
マネープールマザーファンド (評価額)	34,333,118	34,346,624	34,366,884	34,383,767	34,400,650	46,118,810
未収利息	2,344	3,446	4,565	3,663	4,294	4,733
(B) 負債	155,730,973	128,234,130	198,711,517	127,752,549	192,535,184	204,151,327
未払金	27,000,000	-	38,000,000	-	-	58,000,000
未払収益分配金	110,246,864	117,005,300	117,285,722	115,534,289	115,821,055	133,532,516
未払解約金	13,144,958	5,618,591	37,122,755	6,100,894	71,149,125	5,757,535
未払信託報酬	5,283,543	5,551,810	6,237,392	6,053,653	5,507,433	6,789,813
その他未払費用	55,608	58,429	65,648	63,713	57,961	71,463
(C) 純資産総額(A-B)	4,451,741,712	4,662,519,508	5,097,801,562	5,079,708,303	4,731,534,284	5,696,190,267
元本	220,493,728,751	234,010,601,714	234,571,445,820	231,068,578,148	231,642,110,413	267,065,032,797
次期繰越損益金	△216,041,987,039	△229,348,082,206	△229,473,644,258	△225,988,869,845	△226,910,576,129	△261,368,842,530
(D) 受益権総口数	220,493,728,751口	234,010,601,714口	234,571,445,820口	231,068,578,148口	231,642,110,413口	267,065,032,797口
1万口当たり基準価額(C/D)	202円	199円	217円	220円	204円	213円

(注) 当ファンドの第130期元本額は221,426,057,158円、第130～135期中追加設定元本額は113,102,308,013円、第130～135期中一部解約元本額は67,463,332,374円です。

(注) 元本の欠損

第135期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は261,368,842,530円です。

(注) 第135期末の1口当たり純資産額は0.0213円です。

### 損益の状況

自2025年10月28日 自2025年11月26日 自2025年12月26日 自2026年1月27日 自2026年2月26日 自2026年3月26日  
至2025年11月25日 至2025年12月25日 至2026年1月26日 至2026年2月25日 至2026年3月25日 至2026年4月27日

項目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
(A) 配当等収益	112,032,135円	114,203,282円	117,739,858円	118,068,475円	118,121,245円	150,219,805円
受取配当金	111,996,783	114,156,534	117,664,131	117,997,458	118,060,022	150,103,560
受取利息	35,352	46,748	75,727	61,017	61,223	116,245
(B) 有価証券売買損益	50,147,880	△ 57,427,497	424,738,630	58,804,907	△ 351,138,038	161,813,650
売買利益	51,453,523	△ 1,909,668	418,587,421	54,314,700	6,350,578	165,291,015
売買損益	△ 1,305,643	△ 55,517,829	6,151,209	4,490,207	△ 357,488,616	△ 3,477,365
(C) 信託報酬等	△ 5,339,151	△ 5,610,239	△ 6,303,040	△ 6,117,366	△ 5,565,004	△ 6,861,276
(D) 当期損益金(A+B+C)	156,840,864	51,165,546	536,175,448	170,746,016	△ 238,581,797	305,172,179
(E) 前期繰越損益金	△ 3,610,325,262	△ 3,417,714,143	△ 3,269,588,576	△ 2,684,882,357	△ 2,486,749,252	△ 2,764,629,191
(F) 追加信託差損益金	△212,478,255,777	△225,864,528,309	△226,622,945,408	△223,359,199,215	△224,069,424,025	△258,775,853,002
(配当等相当額)	( 21,919,677,905)	( 23,286,893,739)	( 23,356,581,320)	( 23,015,239,246)	( 23,081,269,865)	( 26,651,959,424)
(売買損益相当額)	(△234,397,933,682)	(△249,151,422,048)	(△249,979,526,728)	(△246,374,438,461)	(△247,150,693,900)	(△285,427,812,426)
(G) 合計(D+E+F)	215,931,740,175	△229,231,076,906	△229,356,358,536	△225,873,335,556	△226,794,755,074	△261,235,310,014
(H) 収益分配金	△ 110,246,864	△ 117,005,300	△ 117,285,722	△ 115,534,289	△ 115,821,055	△ 133,532,516
次期繰越損益金(G+H)	△216,041,987,039	△229,348,082,206	△229,473,644,258	△225,988,869,845	△226,910,576,129	△261,368,842,530
追加信託差損益金	△212,478,255,777	△225,864,528,309	△226,622,945,408	△223,359,199,215	△224,069,424,025	△258,775,853,002
(配当等相当額)	( 21,919,677,905)	( 23,286,893,739)	( 23,356,581,320)	( 23,015,239,246)	( 23,081,269,865)	( 26,651,959,424)
(売買損益相当額)	(△234,397,933,682)	(△249,151,422,048)	(△249,979,526,728)	(△246,374,438,461)	(△247,150,693,900)	(△285,427,812,426)
(分配準備積立金)	146,148,826	132,258,484	123,788,361	116,131,466	107,471,340	118,220,179
繰越損益金	△ 3,709,880,088	△ 3,615,812,381	△ 2,974,487,211	△ 2,745,802,096	△ 2,948,623,444	△ 2,711,209,707

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

## 分配金の計算過程

### 【第130期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（108,343,849円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（21,919,677,905円）および分配準備積立金（148,051,841円）より、分配対象収益は22,176,073,595円（1万口当たり1,005円）であり、うち110,246,864円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

### 【第131期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（108,593,043円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（23,286,893,739円）および分配準備積立金（140,670,741円）より、分配対象収益は23,536,157,523円（1万口当たり1,005円）であり、うち117,005,300円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

### 【第132期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（116,372,098円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（23,356,581,320円）および分配準備積立金（124,701,985円）より、分配対象収益は23,597,655,403円（1万口当たり1,005円）であり、うち117,285,722円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

### 【第133期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（113,975,133円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（23,015,239,246円）および分配準備積立金（117,690,622円）より、分配対象収益は23,246,905,001円（1万口当たり1,006円）であり、うち115,534,289円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

### 【第134期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（112,556,241円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（23,081,269,865円）および分配準備積立金（110,736,154円）より、分配対象収益は23,304,562,260円（1万口当たり1,006円）であり、うち115,821,055円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

### 【第135期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（146,916,787円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（26,651,959,424円）および分配準備積立金（104,835,908円）より、分配対象収益は26,903,712,119円（1万口当たり1,007円）であり、うち133,532,516円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

## 分配金のご案内

### 分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2025年10月28日 ～2025年11月25日	2025年11月26日 ～2025年12月25日	2025年12月26日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月25日	2026年2月26日 ～2026年3月25日	2026年3月26日 ～2026年4月27日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
（対基準価額比率）	2.415	2.451	2.252	2.222	2.392	2.294
当期の収益	4	4	4	4	4	5
当期の収益以外	0	0	0	0	0	—
翌期繰越分配対象額	1,000	1,000	1,000	1,001	1,001	1,002

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

## 《お知らせ》

2026年4月1日適用で、「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が合併し「一般社団法人資産運用業協会」が発足したことに伴う名称変更について、信託約款の変更を行いました。

### 補足情報

#### マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

##### 公社債

2025年10月28日から2026年4月27日まで

買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第1294回国庫短期証券	22,959	—	—
第1367回国庫短期証券	22,908		
第1373回国庫短期証券	7,469		

(注) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

#### マネープールマザーファンドの組入資産の明細

下記は、マネープールマザーファンド全体（49,705千口）の内容です。

##### 公社債

##### (A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

2026年4月27日現在

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	30,500 (30,500)	30,395 (30,395)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)
合計	30,500 (30,500)	30,395 (30,395)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)

(注) ( ) 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

##### (B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

2026年4月27日現在

銘柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
	%	千円	千円	
(国債証券)				
第1367回国庫短期証券	—	23,000	22,926	2026/9/10
第1373回国庫短期証券	—	7,500	7,469	2026/10/13
合計		30,500	30,395	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 組入投資信託証券の内容

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）  
（ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運 用 基 本 方 針	<p>（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>（シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 な 投 資 対 象	ユービーエス・エイ・ジー ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引を投資対象とします。
投 資 態 度	<p>（ツイン・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。</li> <li>②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。</li> <li>④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</li> </ol> <p>（シングル・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。</li> <li>②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。</li> <li>④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</li> </ol>
主 な 投 資 制 限	<ol style="list-style-type: none"> <li>①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。</li> <li>②有価証券の空売りは行いません。</li> <li>③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。</li> <li>④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。</li> <li>⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。</li> <li>⑥運用会社ならびに管理会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。</li> </ol>
分 配 方 針	原則として、毎月分配を行います。
投 資 運 用 会 社	UBSマネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1)(2)：UBS証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3)：バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2025年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	838,457口
ツイン・アルファ・クラス	28,811,379
合計	29,649,836口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2024年12月1日～2025年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	1,566,574,320
担保付スワップ取引に係る純損益	( 288,987,995)
収益合計	1,277,586,325
運用費用	14,739,819
運用費用合計	14,739,819
運用損益	1,262,846,506
分配前の受益証券保有者に帰属する純資産の増減額	1,262,846,506
支払分配金	(1,551,834,501)
分配後の受益証券保有者に帰属する純資産の増減額	( 288,987,995)

(注) 日付は現地基準です。

(注) ( ) 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2025年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	8,384,569,960	598,658,295
ツイン・アルファ・クラス	288,113,791,480	4,552,197,906
合計		5,150,856,201

(注) 日付は現地基準です。

## マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第20期（決算日 2025年11月10日）  
（計算期間 2024年11月12日から2025年11月10日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2025年11月10日に第20期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率			
16期（2021年11月10日）	10,139	△0.1	—	—	百万円 75
17期（2022年11月10日）	10,133	△0.1	—	—	57
18期（2023年11月10日）	10,126	△0.1	—	—	53
19期（2024年11月11日）	10,128	0.0	66.3	—	34
20期（2025年11月10日）	10,166	0.4	59.2	—	38

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
期首 (前期末) 2024年11月11日	10,128	—	66.3	—
11月末	10,128	0.0	66.3	—
12月末	10,129	0.0	60.1	—
2025年1月末	10,131	0.0	60.1	—
2月末	10,134	0.1	60.1	—
3月末	10,138	0.1	59.6	—
4月末	10,141	0.1	59.6	—
5月末	10,145	0.2	57.8	—
6月末	10,149	0.2	57.8	—
7月末	10,153	0.2	61.0	—
8月末	10,156	0.3	61.0	—
9月末	10,161	0.3	59.2	—
10月末	10,164	0.4	59.2	—
期 末 2025年11月10日	10,166	0.4	59.2	—

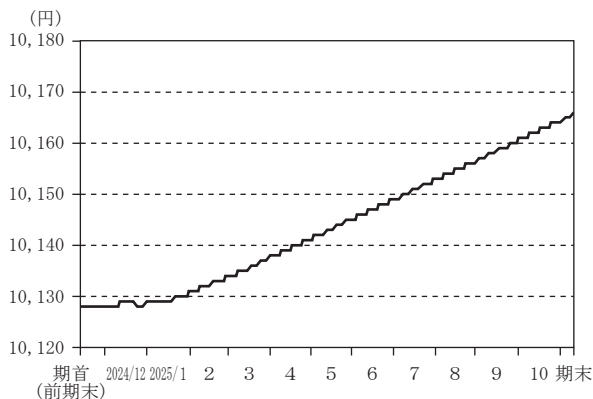
(注) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,128円からスタートし、期末は10,166円となりました。運用対象である国庫短期証券やコール・ローン等の利回りがプラスで推移したことから基準価額は上昇しました。

## ■ 投資環境

### 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の0.07%から期末は0.44%となりました。期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## ■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれますが、依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は比較的安定的に推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

### 1万口当たりの費用明細 (2024年11月12日から2025年11月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

### 売買および取引の状況 (2024年11月12日から2025年11月10日まで)

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	63,029	5,899 (57,200)

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

主要な売買銘柄 (2024年11月12日から2025年11月10日まで)

公社債

買		付	売	付
銘柄	柄	金額	銘柄	柄
第1273回国庫短期証券		千円 17,091	第1207回国庫短期証券	千円 5,899
第1329回国庫短期証券		16,981		
第1291回国庫短期証券		16,964		
第1325回国庫短期証券		5,995		
第1312回国庫短期証券		5,995		

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2024年11月12日から2025年11月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2025年11月10日現在)

下記は、マネープールマザーファンド全体(38,238千口)の内容です。

公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債<種類別>

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	23,000 (23,000)	22,993 (22,993)	59.2 (59.2)	— (—)	— (—)	— (—)	59.2 (59.2)
合 計	23,000 (23,000)	22,993 (22,993)	59.2 (59.2)	— (—)	— (—)	— (—)	59.2 (59.2)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しております。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内(邦貨建)公社債<銘柄別>

銘柄	柄	当 期		末
		利率	額面金額	評価額
(国債証券)		%	千円	千円
第1325回国庫短期証券		—	6,000	5,999
第1329回国庫短期証券		—	17,000	16,994
合 計			23,000	22,993

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 投資信託財産の構成 (2025年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	22,993	59.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	15,879	40.8
投 資 信 託 財 産 総 額	38,872	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	38,872,558円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	15,878,671
公 社 債(評価額)	22,993,700
未 収 利 息	187
(B) 純 資 産 総 額(A)	38,872,558
元 本	38,238,895
次 期 繰 越 損 益 金	633,663
(C) 受 益 権 総 口 数	38,238,895口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(B/C)	10,166円

(注) 期首元本額 34,272,599円  
 期中追加設定元本額 10,156,444円  
 期中一部解約元本額 6,190,148円

(注) 1口当たり純資産額は1.0166円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳  
 ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース 33,765,852円  
 ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) シングルα・米ドルコース 4,473,043円

### 損益の状況

当期 自2024年11月12日 至2025年11月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	121,492円
受 取 利 息	121,492
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	457
売 買 益	1,610
売 買 損	△ 1,153
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	121,949
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	438,010
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	153,556
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 79,852
(G) 合 計(C+D+E+F)	633,663
次 期 繰 越 損 益 金(G)	633,663

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

## 《お知らせ》

2025年4月1日適用で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款の変更を行いました。